

2021年
1月

県内景況・確報

◎概況

県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により厳しい状況にあるなか、復調の動きに弱さがみられる。

●2021年1月 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



ふつう

建設関連



ふつう

観光関連



悪い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや悪い

1月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月を上回りました。新車販売台数も前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

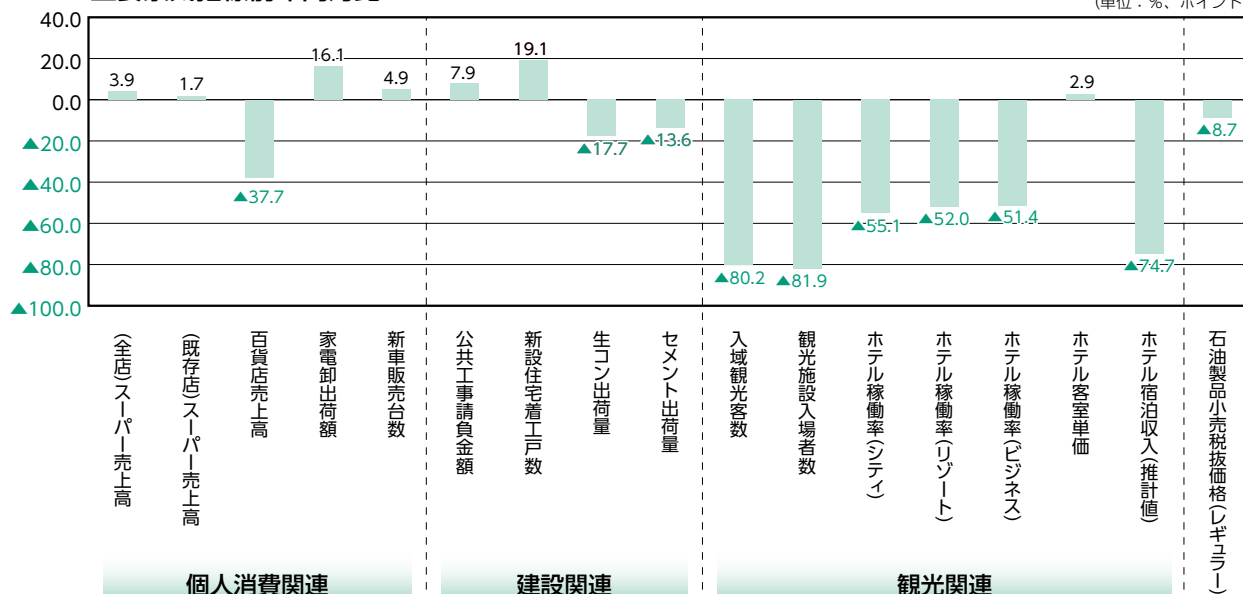
観光関連では、入域観光客数は13ヵ月連続で前年同月を下回り、観光施設入場者数も前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）は下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は底堅さがみられるなか、建設関連は弱含みが続いており、観光関連は下押しの動きがみられることなどから、**「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により厳しい状況にあるなか、復調の動きに弱さがみられる。」**と景気判断を据え置きました。

(2020年10月の上方修正から4ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





個人消費



(ふつう)

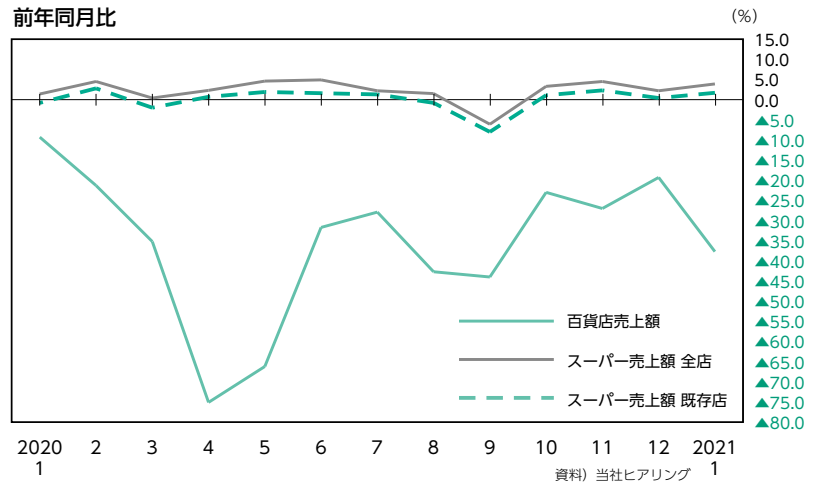
① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

1月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比3.9%増）」は、新規出店効果や巣ごもり需要の増加などにより、「食料品（同5.2%増）」、家電を含む「家庭用品（同4.2%増）」などが伸び、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース（同1.7%増）」は、食料品や家庭用品が伸び、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目

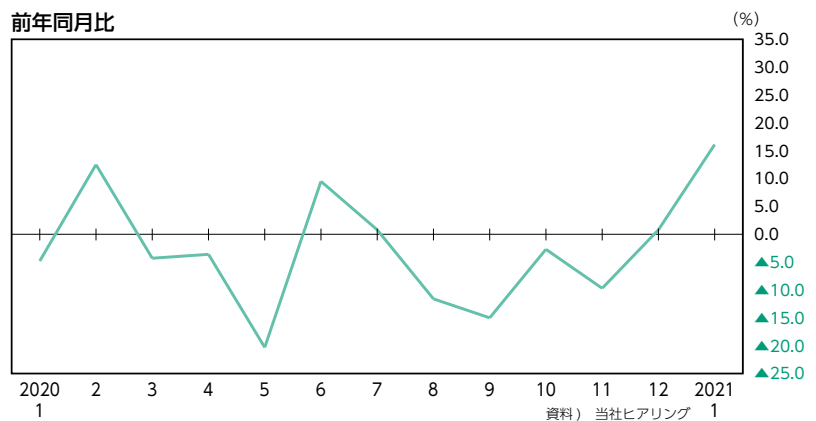
別では、「衣料品（同12.2%減）」は、気温が低く推移したものの、緊急事態宣言の発出による外出自粛および不要不急の買い物を控える動きが見られたことなどから、前年同月を下回りました。一方、「家庭用品（同1.5%増）」は、冷蔵庫、洗濯機、空気清浄機、調理機器等の家電や、マスク等の衛生用品が伸び、前年同月を上回りました。ウエイトの高い「食料品（同2.9%増）」は、引き続き巣ごもり需要により、全般的に伸びたことから、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、沖縄県独自の緊急事態宣言発出による外出自粛などから来店客数が減少し、20ヵ月連続で前年同月を下回りました（同37.7%減）。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品（同42.4%減）」は、気温が低く推移したものの、外出自粛や不要不急の買い物を控える動きが見られたことなどから、前年同月を下回りました。「食料品（同28.3%減）」も、来店客数の減少により前年同月を下回りました。化粧品等の「雑貨（同41.7%減）」は、インバウンド需要の大幅に減少により、前年同月を下回りました。



② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は2ヵ月連続で前年同月を上回る。

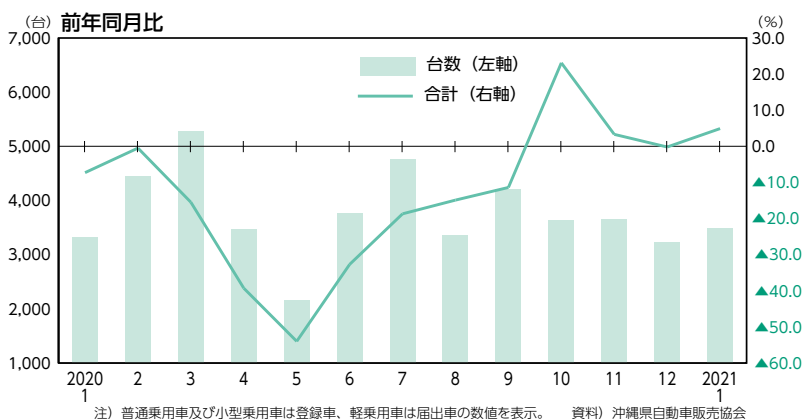
家電卸出荷額は、巣ごもり需要などにより、2ヵ月連続で前年同月を上回りました（同16.1%増）。品目別では、「エアコン（同35.4%増）」は、工事関係の需要が伸び前年同月を上回りました。「テレビ（同2.7%増）」、「冷蔵庫（同48.6%増）」、「洗濯機（同41.4%増）」は、ホテル等の設備工事需要や、巣ごもり需要の増加などから前年同月を上回りました。



③ 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

新車販売台数は、全体で3,478台（同4.9%増）となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同12.5%増）」、「軽乗用車（同16.5%増）」は、自家用車需要が増加し、前年同月を上回りました。一方、「小型乗用車（同12.3%減）」は、自家用車需要は増加したものの、レンタカー需要が大きく減少し前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



建設関連

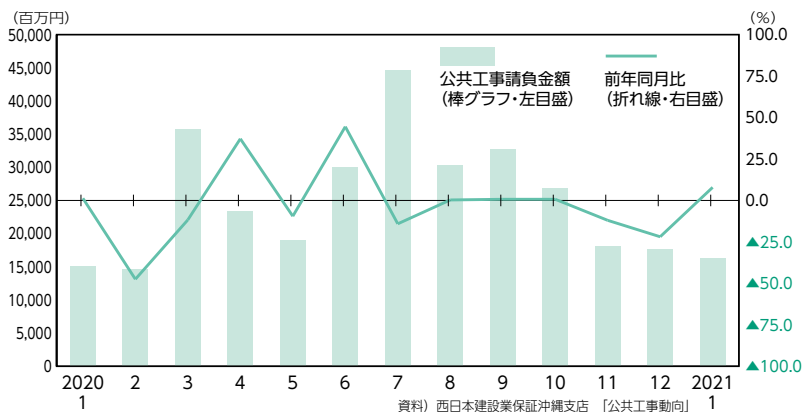


(ふつう)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

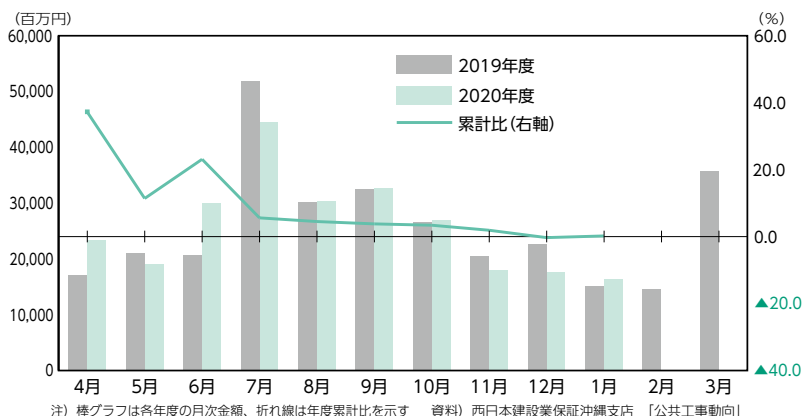
1月の公共工事請負金額は、前年同月比7.9%増の163億4,200万円となりました（3ヵ月ぶり増）。

発注者別でみると、「市町村（同25.2%増）」や「その他の公共的団体（同159.5%増）」、「国（同18.6%増）」、「独立行政法人等（同323.4%増）」は前年同月を上回りました。一方、「沖縄県（同55.4%減）」は前年同月を下回りました。



【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

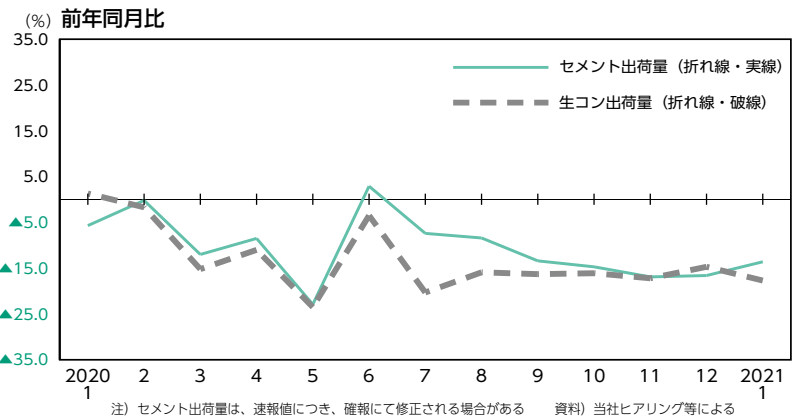
今年度累計値では、0.2%増となっています。





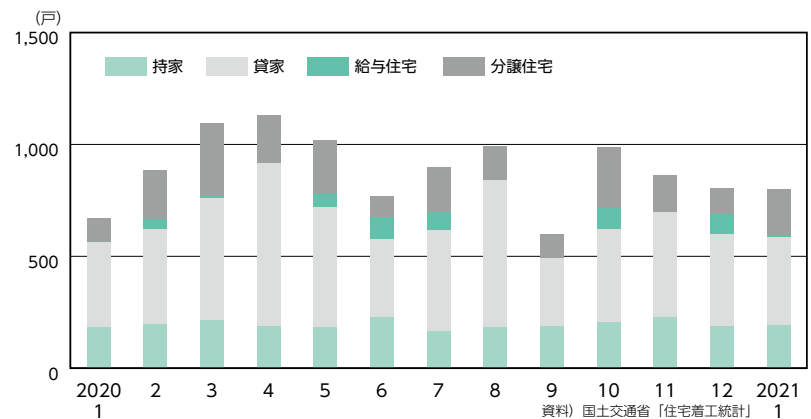
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は17.7%減と12ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、中南部地区における海事工事等への出荷が増加したことなどから前年同月より15.1%上回りましたが、民間工事向けは、中南部地区における住宅関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より33.4%下回りました。セメント出荷量は13.6%減と7ヵ月連続で前年同月を下回りました。



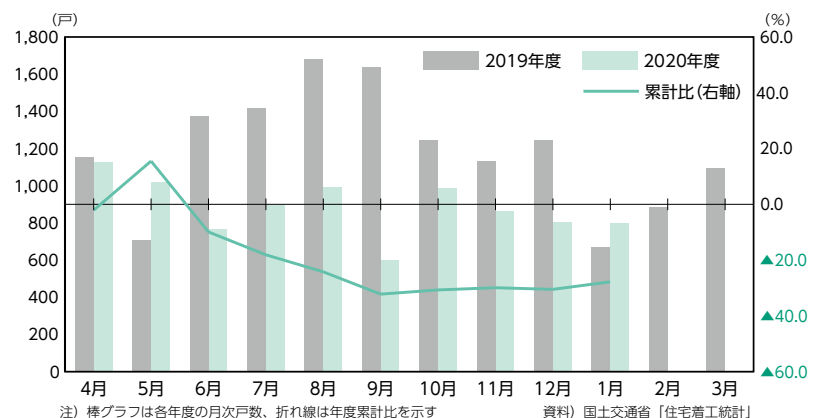
③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を上回る。

1月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比19.1%増の798戸となり、8ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家（同2.9%増）」のほか、「分譲住宅（同99.0%増）」、「持家（同5.5%増）」、「給与住宅」のすべての項目で前年同月を上回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を下回る。

今年度累計値では、27.8%減となっています。

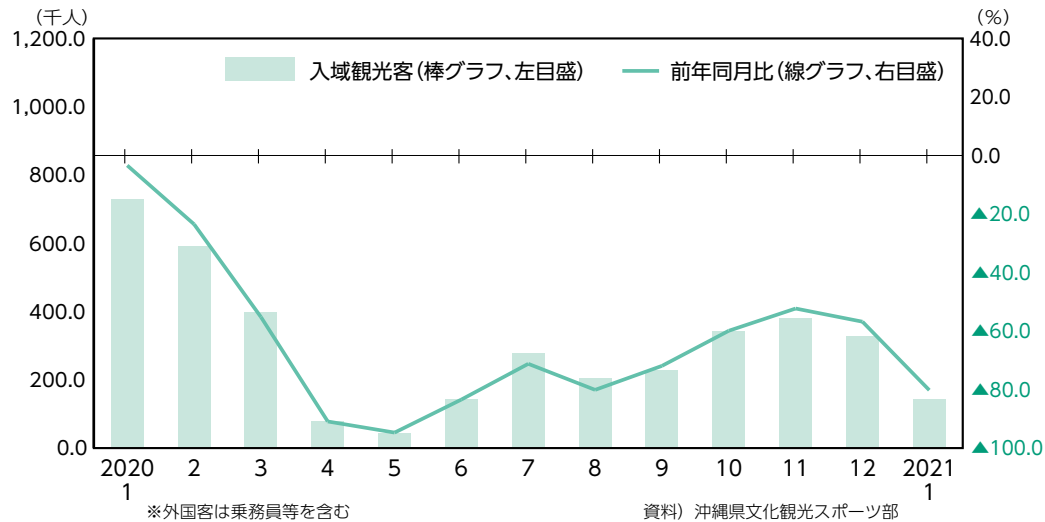


観光関連

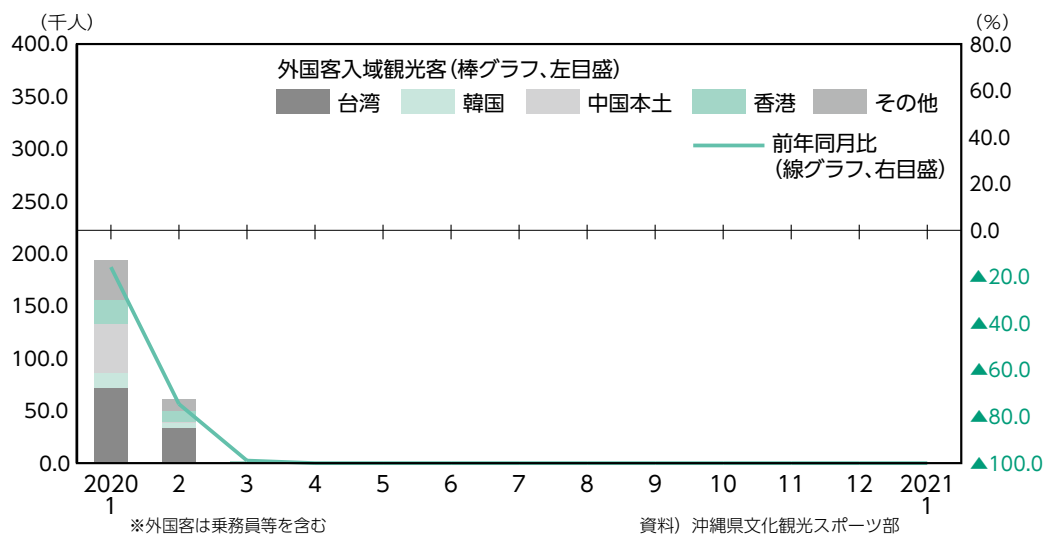


(悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…13ヵ月連続で前年同月を下回る。



外国客 入域観光客数…13ヵ月連続で前年同月を下回る。



1月の入域観光客数は、583,800人少ない144,000人（前年同月比80.2%減）となり、13ヵ月連続で前年同月を下回りました。

内訳をみると、「国内客（同73.0%減）」は、144,000人と12ヵ月連続で前年同月を下回りました。

1月は、国や県独自の緊急事態宣言が発出され、旅行や帰省を含む不要不急の移動自粛要請が行われた影響などから、前年同月を大きく下回りました。

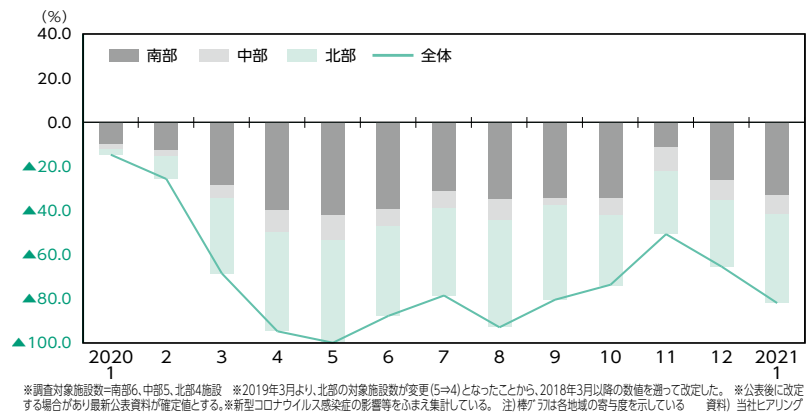
他方、「外国客（同100.0%減）」は、0人となり13月連続で前年同月を下回りました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から、観光目的での日本への入国制限措置がとられたことなどから、皆減となりました。

「台湾（同100.0%減）」「韓国（同100.0%減）」「中国本土（同100.0%減）」「香港（同100.0%減）」



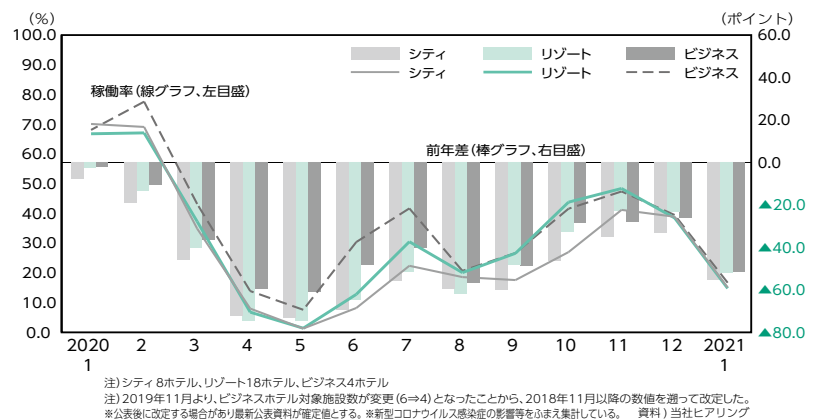
② 観光施設入場者数…18ヵ月連続で前年同月を下回る。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より81.9%減少(18ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同87.8%減と18ヵ月連続、中部は同73.2%減と13ヵ月連続、北部は同79.6%減と18ヵ月連続で前年同月を下回りました。



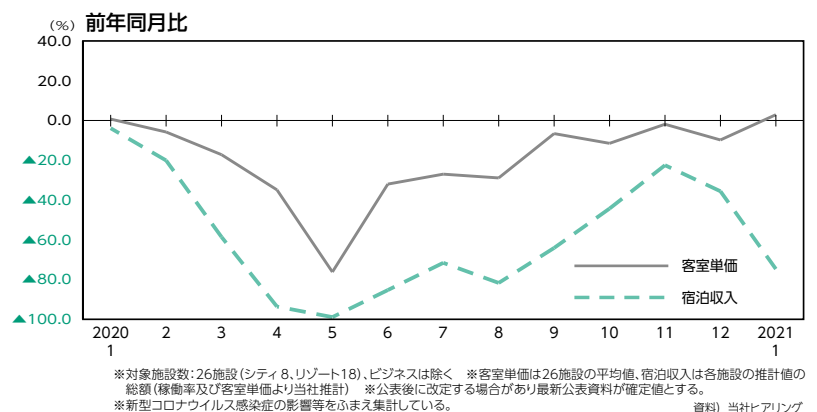
③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが15.1%と55.1ポイント減少(19ヵ月連続)、リゾートホテル14.8%と52.0ポイント減少(20ヵ月連続)、ビジネスホテルが16.7%と51.4ポイント減少(18ヵ月連続)しました。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入は下回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比2.9%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**は同74.7%減と前年同月を下回りました。





企業倒産

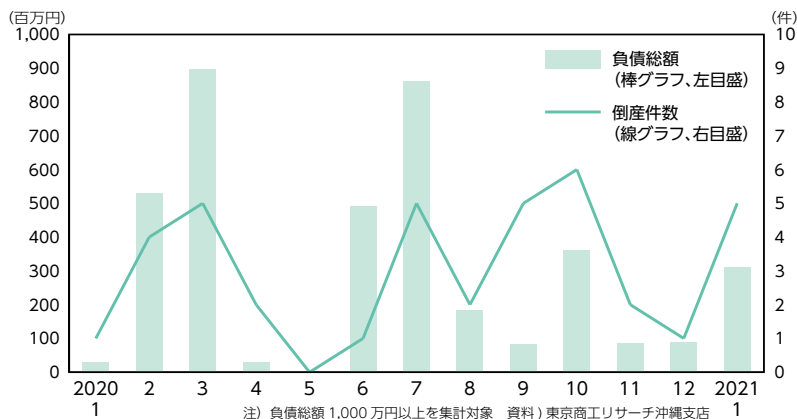


(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

1月の企業倒産件数は、5件（うち大口倒産は1件）となり、前年同月より400.0%上回りました。

負債総額は3億1,200万円となり、前年同月より940.0%上回りました。



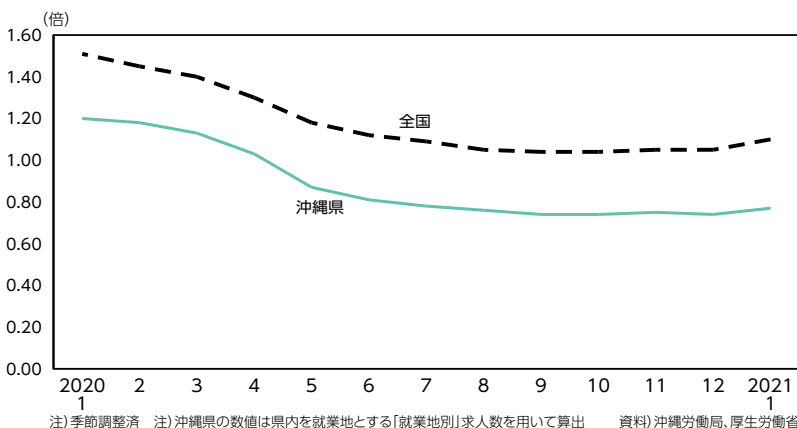
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国はともに前月より上昇。

1月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比3.8%増の23,253人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.2%増の30,153人となり、有効求人倍率（季節調整値）は0.77倍と、前月より0.03ポイント上昇しました。



② 完全失業率…沖縄は前月と同水準、全国は前月より低下。

1月の完全失業率（季節調整値）は、3.9%となり前月と同水準になりました。

